【記入例】

海外派遣助成　申請書

令和９年度用 [Q-DACS 2027]

申請要領、申請書類作成ガイドをよくお読みの上、入力してください。申請書類赤字の注意事項もお読みください。

JAPANFOUNDATION 国際交流基金

必ずAdobe Acrobat Reac　　ん。

1 申請概要

申請団体を入力してください。個人申請の場合で芸名がある場合、芸名ではなく、本名を入力してください。

申請者／団体名

○○劇団

事業名

※ひな型（例）に沿って入力すること

○○劇団（演劇）フランス・ドイツ・ポーランド公演・ワークショップ

「派遣アーティスト名」（「ジャンル」）「実施国」「事業形

例）国際太郎（ダンス）米国公演・デモンストレーション

ひな型の赤字に沿って入力してください。

事業期間

日本出国日　　日本帰国日

2027/10/11　～　2027/10/23

※助成対象期間の2027/4/1～2028/3/31で入力（yyyy/mm/d

「申請付属書」４.の内容と一致させてください。

事業概要

※ひな型（例）に沿って入力すること

フランス（パリ、マルセイユ）、ドイツ（ケルン）、ポーランド（ワルシャワ）で○○劇団による公演・ワークショップを実施

ひな型の赤字に沿って簡潔に入力してください。

「実施国」（都市名）で「派遣アーティスト名」による「事業形態」を実施

例）フランス（パリ,マルセイユ）、ドイツ（ケルン）で○○劇団による公演を実施

助成金申請額

3,547,100 円

※収支計画書内の【国際交流基金に申請する助成額（A＋B）】の金額を入力する

事業費総額

5,587,100 円

※収支計画書内の収入合計を入力すること

2つの数字が収支計画書内の数字と一致しているかご確認ください。

2 申請者

※団体の場合…①、③を入力　※個人の場合…②、

「団体」か「個人」か、忘れずに確認してください。

①団体の場合　※団体申請の場合、組織基盤を示す定款・規約・会則等を必ず添付してください。

申請団体

「団体」で申請の場合、こちらに入力してください。また、団体の定款・規約・会則等を必ず添付してください。

団体名（英語）

○○ Company

法人格　　※その他の場合

任意団体

設立年

2001

（yyyy）

住所　〒 123-4567

東京都●●区●●町8-9

URL

https://www.xxx.xx.jp/

団体申請の場合、団体代表者が事業責任者や経理責任者を兼ねることはできません。

代表者

※代表者が事業責任者や経理責任者を兼ねることはできません

氏名	役職
国際花子	代表

E-mail	Tel.
hanako@xxx.xx.jp	03-xxxx-xxxx

事業責任者

氏名	役職
交流太郎	制作

E-mail	Tel.
taro@xxx.xx.jp	090-xx

「団体」で申請の場合、代表者欄から経理責任者欄まで入力してください。

経理責任者

氏名	役職
基金星子	会計

E-mail	Tel.
hoshiko@xxx.xx.jp	03-xxxx-xxxx

②個人の場合

芸名

※ある場合のみご入力ください

日本語	英語
華子	HANAKO

生年月日

1975/08/01

(yyyy/mm/dd)

「個人」で申請の場合、芸名欄からURL欄まで入力してください。
なお、「個人」の場合、申請団体欄は入力不要です。

郵便番号

〒 123-4567

住所

東京都●●区●●町8-9

連絡先

E-mail	Tel.
hanako@xxx.xx.jp	03-xxxx-xxxx

URL

https://www.hanako.xx.jp/

③団体・個人共通

事務担当者

氏名	役職
交流太郎	制作

E-mail ※採否結果を送信いたします。お間違いないかご確認ください	Tel.
taro@xxx.xx.jp	090-xxxx-

確実に連絡がとれるE-mail、電話番号を記載してください。

JF助成実績

「〇〇公演」2020年度、海外派遣助成
「△△ツアー」2018年度、アジアセンター助成

※過去に国際交流基金から助成を受けた経験がある場合は、入力すること
例）「〇〇公演」2020年度、海外派遣助成
「△△ツアー」2018年度、アジアセンター助成

申請者個人／団体の国際交流基金からの助成実績を入力してください。

3 事業概要

アーティスト個人名を記載する場合で、芸名がある場合は芸名を記載してください。

派遣アーティスト名

日本語	英語
○○劇団	○○ Theater Company

公演名
※ある場合のみご入力ください
○○劇団欧州ツアー2026

実施国
フランス・ドイツ・ポーランド
例）フランス・ドイツ

該当するものをすべて選択してください。

ジャンル
※複数選択可
☑ 演劇 ☐ ダンス・舞踊 ☐ 音楽 ☐ 邦楽 ☐ 伝統芸能 ☐ 郷土芸能 ☐ 日本文化紹介
☐ その他

事業形態
※複数選択可
☑ 公演 ☐ レクチャー ☐ デモンストレーション ☑ ワークショップ

渡航人数
10 人
※申請付属書の団員リストの人数及び

「申請付属書」３.の団員数合計と収支計画書の渡航人数と一致しているかご確認ください。

4 事業詳細

申請者ご自身ではなく、現地招へい者（事業の主催者）を記載してください。国際交流基金の海外事務所、日本国大使館・総領事館は招へい団体とみなされません（申請要領を参照）。

招へい団体名
△△演劇フェスティバル、●●劇場、■財団

招へい団体概要
※アーティストを招へいする団体について入力すること。招へい団体が複数ある場合はすべての団体について入力すること。
△△演劇フェスティバル：毎年10月にフランスで開催されるヨーロッパ最大規模の演劇祭。XXXXXXXXXX。XXXXXXXXXX。
●●劇場：2001年に設立のフランスの公的機関が運営する劇場で現代演劇の上演に力をいれている。XXXXXXXXXX。XXXXXXXXXX。
■財団：2010年に設立された舞台芸術分野を支援す文化財財団。XXXXXXXXXX。
（200字以

申請要領（申請書類作成ガイド）もご確認ください。

申請者ご自身ではなく、現地招へい者に関する情報（招へい団体すべて）を入力してください。個人からの招へいは助成対象とはなりません。

招へいに至る経緯
・20XX年にイタリア・ローマで公演した際に、△△演劇フェスティバルの芸術監督が現地で観劇したことをきっかけに、演劇祭と申請者とのコミュニケーションがスタートし、今回のオファーに至った。
・XXXXXXXXXX。
・XXXXXXXXXX。
等、現地招へい者との関係構築の状況などを交えながら、招へいに至る経緯を入力ください。
（300字以内）

今回招へいを受けた際の背景情報（招へい団体が招へい状を発行するに至った）を把握できるよう記述してください。

公演概要
劇作家の国際花子が2017年に東京で制作した作品の再演。
演目名『小魚小国』（2017年）
内容：XXXXXXXXXX。XXXXXXXXXX。XXXXXXXXXX。XXXXXXXXXX。
主な出演者：
XXXX、XXXX
スタッフ：
XXXX、XXXX
（400字以内）

公演の内容を簡潔にまとめて入力してください。抽象的な記述ではなくできる限り具体的な記述としてください。

参考動画URL
https://youtu.be/xxxxxxx_xxx
※派遣

招へい団体（現地フェスティバル等）の映像ではなく、申請者（渡航するアーティスト等）の公演内容（演技・演奏等）がわかる映像のURLを入力してください。事業内容の参考としますので、できるだけ申請案件に対応する内容を共有してください。

主要出演者説明

〇〇劇団：2005年に劇作家の国際花子が設立してから、21年の活動を行っている。これまで「△△戯曲賞」等、数々の受賞歴あり、国内外で活躍中。

各俳優の簡単なプロフィールを説明してください。
XXXX
XXXX

（300字以内）　※簡潔にご記載くださ

現地で実際に公演等を実施する主な方々のプロフィールを簡潔に説明してください。

事業目的・意義・及び期待される効果

・本作品『小魚小国』が掲げる様々な生物との共生という普遍的なテーマを国を超えて発信することで、より良い社会の実現について問いかける。
・日本の現代演劇シーンで高く評価されている『小魚小国』を海外の有力フェスティバル等で発表することで現代日本の先鋭的な表現を提示する。
・現地のフェスティバルと関係強化を図り、今回の公演を契機に日本の現代演劇を幅広く世界で紹介する足がかりをつくる。
・〇〇劇団のワークショップを通し、〇〇劇団が提唱するメソッドを現地で普及させ、現地の演劇団体と息の長い文化交流を実現する。
・XXXXXXXXXX。

等、事業の目的及び期待される効果を入力してください。

（500字以内）

現地で事業を実施する目的と意義、期待される効果を具体的に説明してください。

事業の準備状況

2026年7月　現地機関と上演演目の調整、会場についての相談
2026年10月　現地機関と渡航条件の調整、国内での稽古開始、ワークショップの詳細打ち合わせ
2026年11月　招へい状の発行
2027年10月　渡航前の最終打ち合わせ、渡航

等、これまでの準備状況及び渡航までの計画を入力してください。

（300字以内）

申請付属書の会場収容人数の合計と矛盾が生じないよう記述してください。オンライン配信が付随する場合、現実的な数字を記述してください。

現時点までの準備状況及び渡航までの計画を説明してください。いつ、何がなされたか、今後なされるのか等、具体的な作業進行状況を確認できる形で記述してください。

目標集客人数

500 人

※フェスティバルへの出演の場合、フェスティバル全体ではな

事業目標・事業目標の評価基準及びメディア掲載目標件数（自主的に設定）

メディア掲載目標件数：新聞●件、雑誌●件、ウェブメディア●件等。

事業目標の評価基準：〇〇人の来場目標を達成する。公演会場でアンケートを実施する等、公演の評価や公演による波及効果を測定する。加えて国内外の有力メディア２社に劇評を掲載してもらう。

主に国内外の各種メディアに記事掲載される目標件数及び媒体を入力してください。また、事業の目標をどれくらい達成できたかを、事業実施後に客観的に評価できる基準を説明してください。

事業終了後の計画と成果公表方法

・事業終了後、ポーランドで『小魚小国』の戯曲翻訳を実施。
・△△演劇フェスティバルと共催し、『小魚小国』の続編制作を行う。
・成果は、劇団のウェブサイト、SNS上で報告を行う。
・日本国内で7か所で凱旋公演を計画する。

等、事業終了後の計画と成果を公表する。

（300字以内）

事業終了後以降の活動計画について説明してください。また、事業の成果について、どこでどのように公表するかを簡潔に説明してください。

独立行政法人国際交流基金理事長　殿
以下の点を誓約し、公募プログラムに申請いたします。

☑ 申請者（団体の場合は代表者・事業責任者・経理責任者の三者とも）は申請要領に記載された内容（「個人情報の取扱い」を含む）をすべて確認し、同意しました。
☑ 申請者（団体の場合は代表者・事業責任者・経理責任者の三者とも）は本申請内容を確認し、真正かつ遺漏なきものとして承認しました。

ずご確認のうえ、チェックしてください。

必ず確認し、□にチェックを入れてください。

入力項目は以上です